

取扱説明書

systemX LED version L designed by Ross Lovegrove



このたびは、YAMAGIWA の照明器具をお買い上げくださり誠にありがとうございます。
この説明書をよくごらんの上、正しく取り付け、正しくご使用ください。
お読みになりましたら、この取扱説明書は大切に保管してください。

●電気工事は電気工事店（有資格者）におまかせください。一般の方の工事は法律で禁止されています。

目 次

- 1 ページ：照明器具の取付（施工）についての安全上のご注意
2 ページ：定格表とシステム寸法
3 ページ：システム寸法と部品名称
4 ページ：取付方法
5 ページ：取付方法
6 ページ：LED ユニットについて・照明器具ご使用についての安全上のご注意
保守とお手入れ・アフターサービス

照明器具の取付（施工）についての安全上のご注意

⚠ 警告

!	火災のおそれがあります ◇電源接続の際は、取扱説明書の取付方法にしたがって確実に行ってください。		
	落下によるけがのおそれがあります ◇取付は取扱説明書の取付方法にしたがって確実に行ってください。 ◇器具の取付は、取付ける天井の強度を確認し、質量に耐えるところに確実に行ってください。 強度が不足している場合は、補強工事をしてから取付けてください。 ◇器具は指定の取付方向に取付けてください。		
	感電のおそれがあります ◇工事が完了するまでは、必ず電源を切っておいてください。 ◇器具の取付けの際には、必ず電源を切ってください。 ◇アース工事は電気設備基準及び内線規定にしたがって確実に行ってください。		
落下によるけがのおそれがあります ◇取付部のまわりに極端な突出部のある所に、器具を取付けしないでください。			

⚠ 注意

- ◇電気工事は電気工事店（有資格者）におまかせください。一般の方の工事は法律で禁止されています。
- ◇器具に表示された定格電圧以外の電圧で、使用しないでください。
定格電圧を越えた電圧でご使用になりますと**火災の原因**となります。
- ◇取付けた器具を説明書に従わず無理に回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。
器具落下によるけがの原因となることがあります。
- ◇灯具の着脱は両手で静かに扱い、取付けは確実に行ってください。**落下によるけがの原因**となります。
- ◇調光器に対応していない器具は、調光器を使用しないでください。**火災の原因**となります。
- ◇この器具は屋内用器具ですが、風呂場等の湿気や水気が多い場所では使用できません。
屋外では使用しないでください。**感電・火災の原因**となります。
- ◇器具取付の際に、壁紙・クロス貼り等の接着剤等が十分乾燥してから器具を取付けてください。
メッキや塗装等の変色や、さびの原因となります。
- ◇アース工事が必要な器具ですので、電気設備技術基準及び内線規定にしたがってアース工事を行ってください。
感電・火災の原因となります。尚、100Vでご使用の場合はアース工事は必要ありません。
- ◇周囲環境温度は0℃～35℃の間でご使用ください。


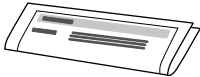
お 願 い

電気工事店様へ…工事が終わりましたら、この取扱説明書を、必ずお客様へお渡しください。

定格表

カタログ番号	型番	使用電圧 入力電流	消費電力	使用光源 定格光束	色温度	演色性	質量
F-191W	OAFZ-01K1-0W	DC 43.5V 0.7A	30.5W	LED 3960lm	4000K (LED)	Ra85	1.5Kg



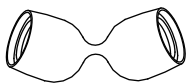
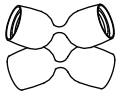
■同梱付属品■

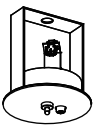
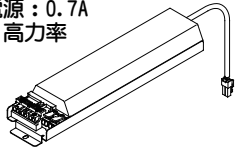
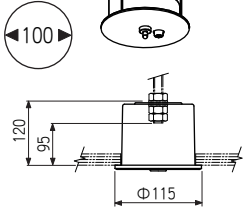
六角レンチ (2mm) 	取扱説明書 (この説明書) 
--	--

【調光してご使用する場合】

この器具は LUTRON 社製の EcoSystem に対応した電源を使用します。
この電源は専用の制御装置、スイッチ等のシステムが必要となります。
詳しくは弊社の担当にお問い合わせください。

■オプション

エンドキャップ Z1210W OAFZ-02K4-ZW (型番) 	V型コネクター Z1211W OAFZ-03K1-ZW (型番) 
W型コネクター Z1212W OAFZ-04K9-ZW (型番) 	X型コネクター Z1213W OAFZ-05K6-ZW (型番) 

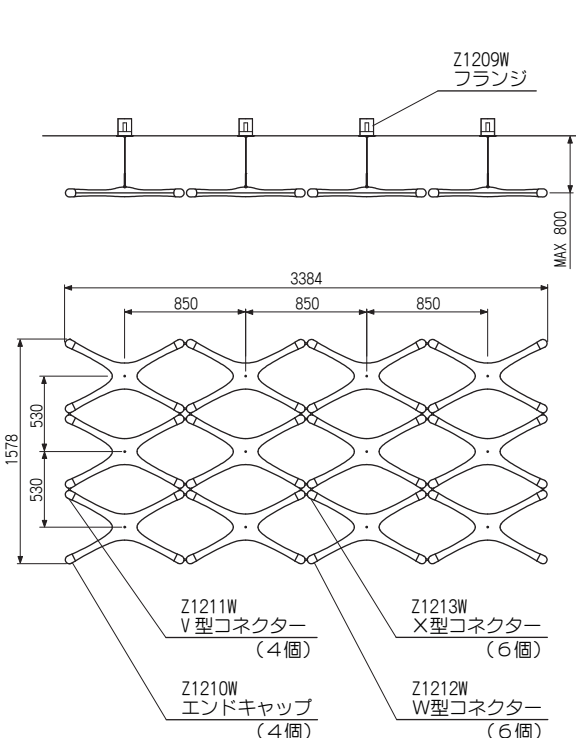
フランジ (F-191W 用) Z1209W OAFZ-01K7-ZW (型番) 	LED 調光用電源 (LUTRON ECO SYSTEM) Z1214 OAFZ-06K3-Z0 (型番) 
	入力電源：AC100/200V 周波数：50/60Hz 消費電力：35W MAX 二次電圧：27.7Vto50.0VDC 二次電流：0.7A 力率：高力率

本品の規格および外観は改良のため予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

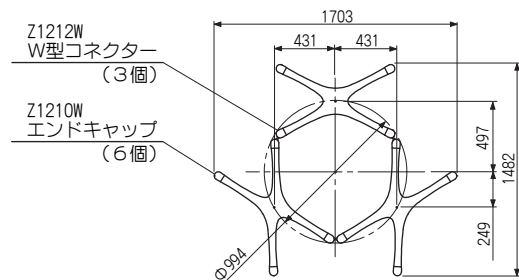
システム寸法

■ 連結例の一部をご紹介します。

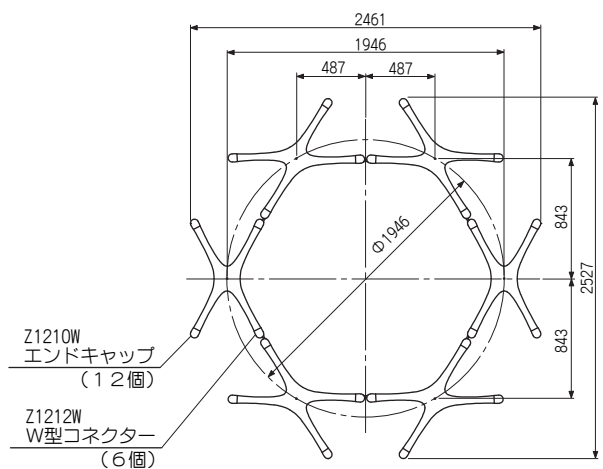
【A：12台をグリッド状に連結する場合】



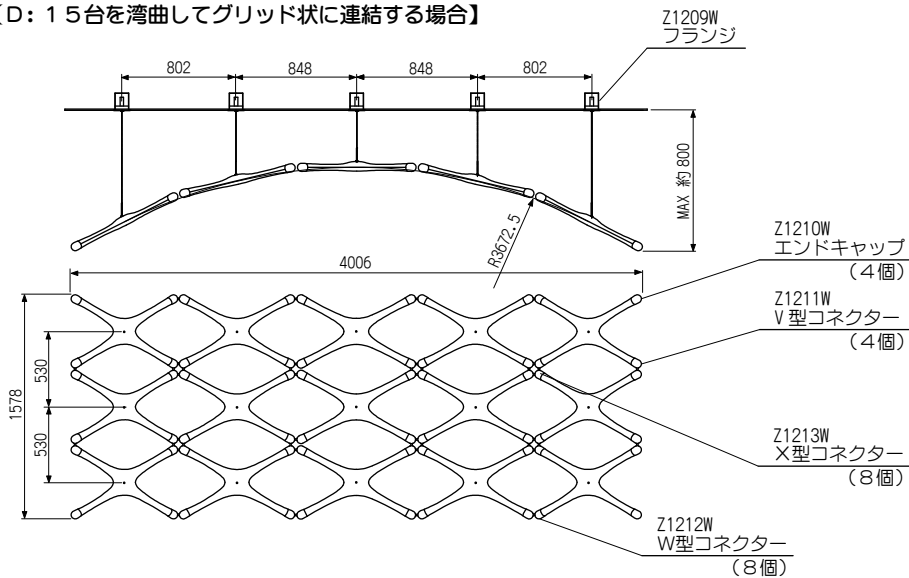
【B：3台をサークル状に連結する場合】



【C：6台をサークル状に連結する場合】

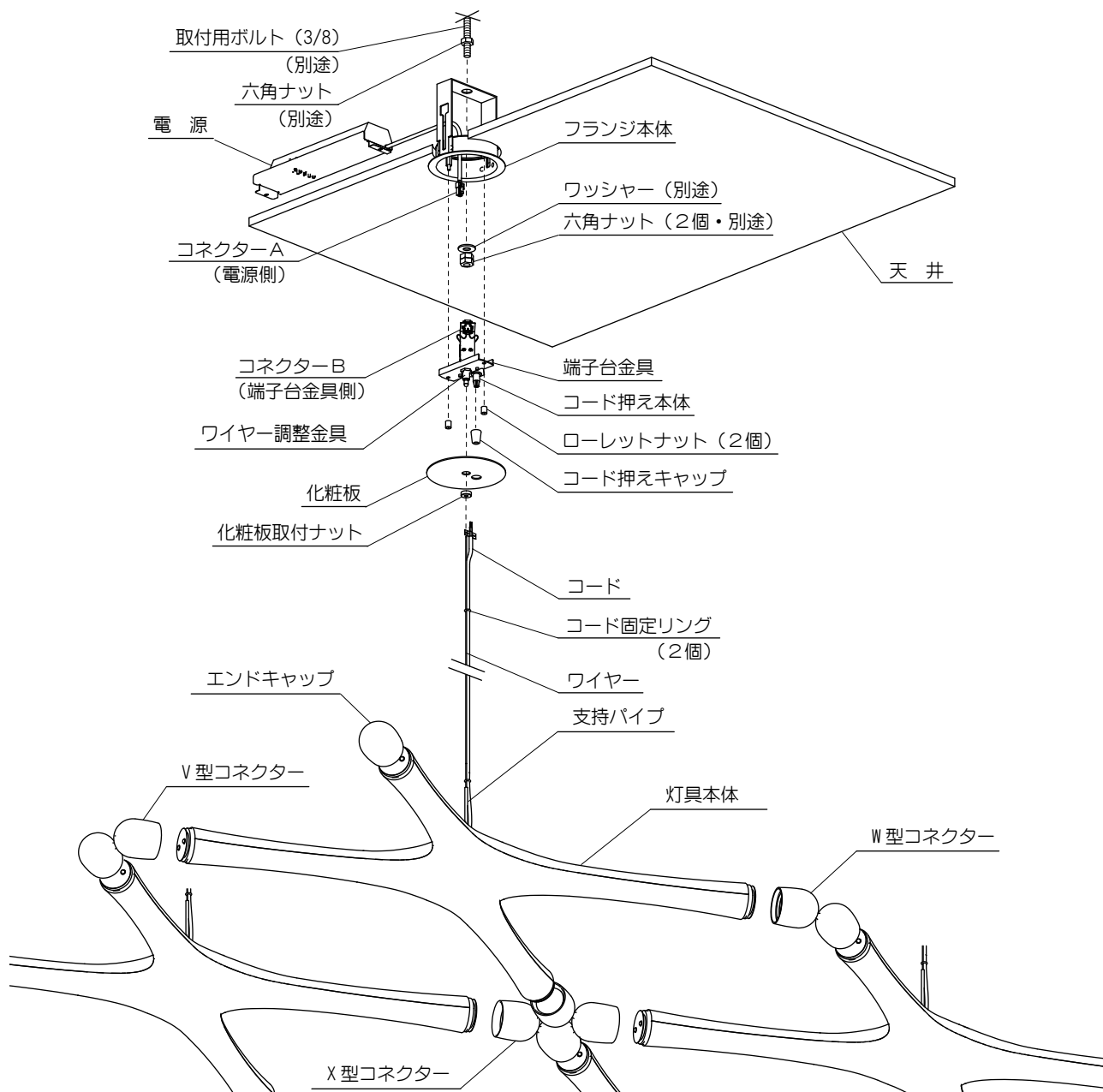


【D: 15台を湾曲してグリッド状に連結する場合】



部品名称

■ イラストは一部省略してあらわしたものです。

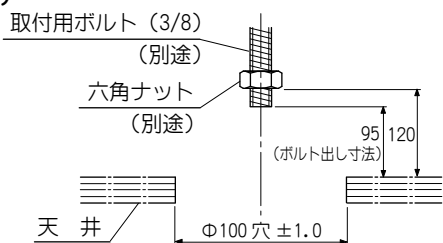


取付方法

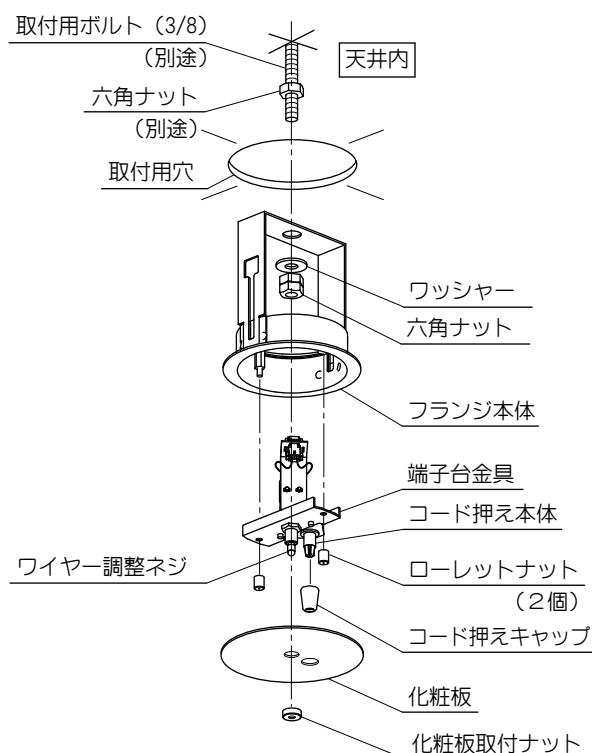
△ 注意

必ず電源を切って行ってください。
感電・やけどの原因となります。

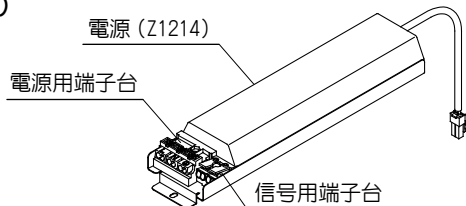
(図1)



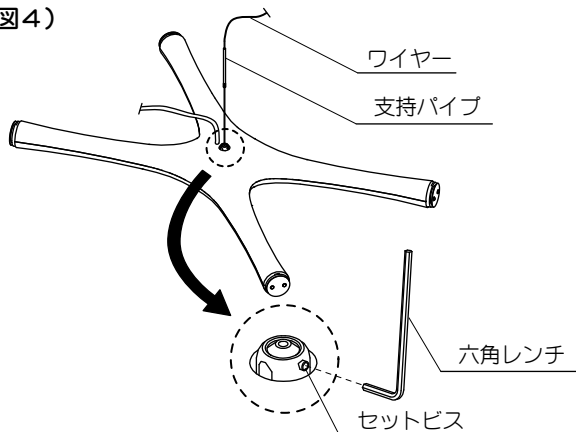
(図2)



(図3)



(図4)



【施工のまえに】

- 取付部の強度は器具質量に十分耐えられるようにしてください。不備がありますと器具落下の原因となります。
- 傾斜した天井には取付けできません。

①フランジの設置場所を用意する (図1)

- 2、3ページの「システム寸法」を参照しながら、フランジを設置する位置を割り出し、取付用ボルト (3/8) を立ててください。位置出しが正確でないと、器具が正常に取付かない原因となります。
- 天井にフランジを設置するための穴 (φ100mm) を開けてください。

②フランジを分解する (図2)

- 化粧板取付ナットを回して化粧板をはずしてください。
- ローレットナット (2個) を回して端子台金具をはずしてください。

③フランジを天井に取付ける (図2)

- フランジ本体を天井内の取付用ボルトに差込み、ワッシャー (別途) とナット (2個・別途) で確実に取付けてください。
- フランジには方向性があります。端子台金具にあるコード押えの位置を他のフランジと揃えるようにしてください。

④電源に電源線とアース線 (200V の場合)・調光用信号線を接続する (図3)

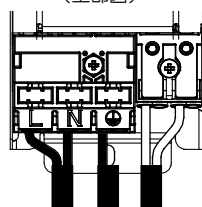
- この器具は、D種設備工事 (第3種設置工事) が必要です。必ず電源を切った状態で作業をしてください。不備がありますと、感電の原因となります。
- 調光させない場合は信号線の接続は不要です。
- 接続したら電源を天井裏に置いてください。
- コードを化粧板の穴に通してからコード押えキャップにも通してください。次にコード押え本体の穴にも通してから、コード押えキャップをしめ付けて固定してください。

電源電線と信号線の接続方法

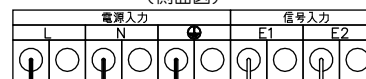
- 電源線 : 12mm
 - 信号線 : 8mm
- ストリップ長

電源直径	デジタルリンク長 (最大)
1.2 mm	250 m
0.9 mm	120 m
0.8 mm	100 m

(上部図)



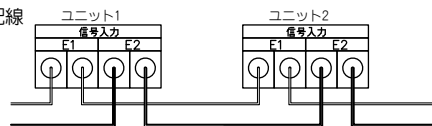
(側面図)



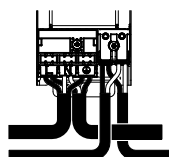
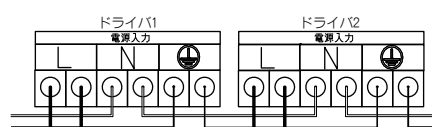
- AC電源線2芯と弱電信号線2線を使用します。主電源電線サイズ : 1.6-2.0mm (VVF等) Eco System信号線サイズ : 0.8-1.2mm (CPEVS等)

送り配線方法

Eco System 送り配線



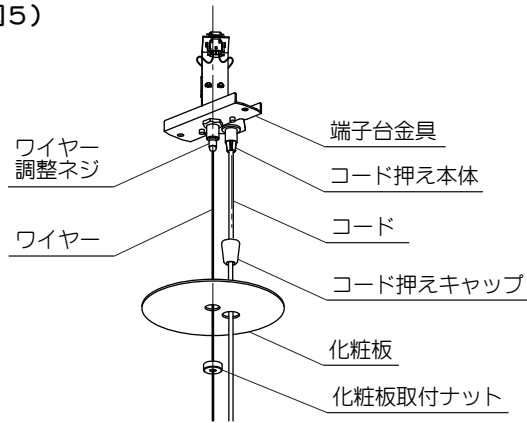
電源送り配線



⑤支持パイプを灯具本体にねじ込む (図4)

⑥付属の六角レンチでセットビスをゆるめる (図4)

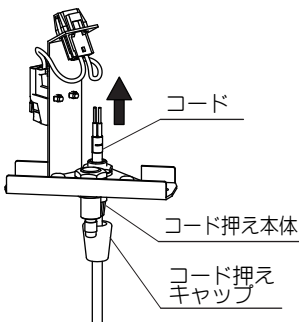
(図5)



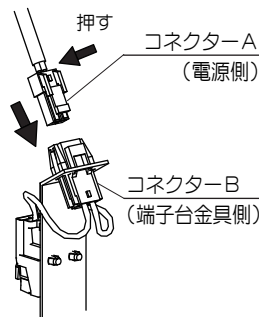
⑦端子台金具にワイヤーとコードを取付ける (図5)

- ワイヤを化粧板取付ナットと化粧板に通してください。
- 端子台金具にあるワイヤー調整ネジをゆるめ、ワイヤーを通してください。
- コード押えキャップを回しながらし、それにコードを通してください。
- コードを化粧板の穴に通し、コード押え本体の穴にも通してください。コード押えキャップをしめて付けてコードを固定してください。(図6)

(図6)

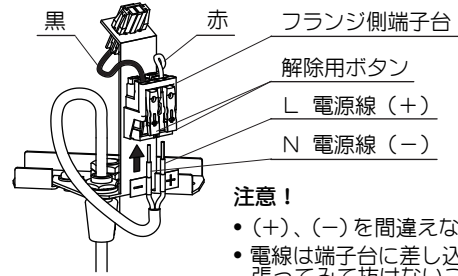


(図7)



⑧器具本体のコードを端子台に接続する (+、-に注意)

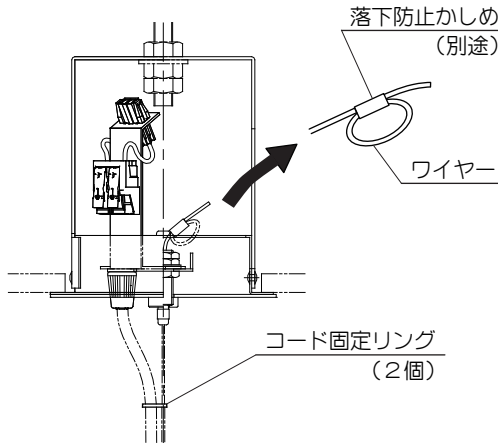
器具本体のコードの接続方法



注意!

- (+)、(-)を間違えないでください。
- 電線は端子台に差し込んだあと必ず張ってみて抜けないことを確認してください。

(図8)



⑨コネクターのAとBを接続する (図7)

⑩端子台金具をフランジに取付ける (図2)

- ローレットナット (2個) を最後まで確実にしめて付けてください。

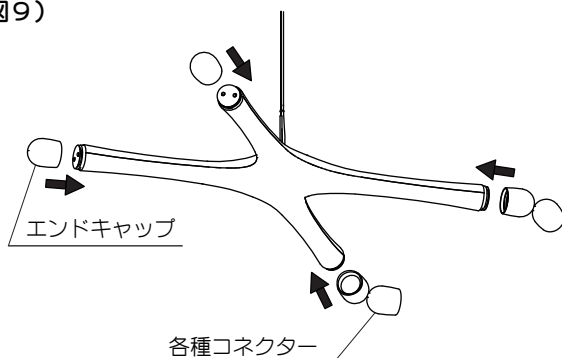
⑪化粧板をフランジに取付ける (図2)

- 化粧板取付ナットを最後まで確実にしめて付けてください。

⑫ワイヤーとコードの長さを調整する (図8)

- コードは少したるむようにしてください。
- 調整後、落下防止かしめ (別途) を取付けて落下防止対策を施してください。
- コード固定リング (2個) を均等に配置して、ワイヤーとコードを止めてください。

(図9)



⑬吊角度を決めてから、セットビスをしめて付ける (図4)

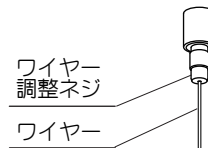
⑭灯具本体にキャップを取付ける (図9)

- 連結する部分には、各種コネクターを取付ける。

ワイヤー調整方法

■ワイヤーを短く調整する場合

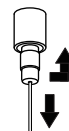
下図のようにワイヤー調整ネジにワイヤーを押し込んでください。このとき、必ず灯具本体は支えながら行ってください。



ワイヤー調整ネジをゆるめるとワイヤーを押し込むことができます。

■ワイヤーを長く調整する場合

灯具本体をしっかり支えながら、下図のようにワイヤー調整ネジのストッパーをゆるめて、灯具本体の位置を下げるように調整してください。



ワイヤー調整ネジを押し上げながらワイヤーを引き出す。

△ 注意







ストッパーを押し上げている間ワイヤーはロックされませんので灯具本体の重さで一気にかかってしまいます。吊り長さを長くするときは必ず灯具本体を支えながら調整を行ってください。

※調整後、ワイヤー調整ネジを確実にしめて固定してください。

LEDユニットについて

- ・この器具のLEDユニットの交換はできません。あらかじめご了承ください。
- ・無理に器具を分解して一般のLED素子と交換しないでください。 **火災・発熱・器具破損の原因**になります。
- ・この器具のLEDユニットの寿命は、30℃以下の環境・1日10時間点灯で約40,000時間です。
- ・LEDの明るさ、光色には個体差があります。あらかじめご了承ください。

照明器具ご使用についての安全上のご注意

⚠ 警告		
	<p>感電のおそれがあります</p> <p>◇器具の交換やお手入れの際には、必ず電源を切ってください。</p> <p>◇異常時（煙が出たり、変な臭いがする時）には、速やかに電源を切ってお買い上げの販売店にご相談ください。</p>	
	<p>感電・火災のおそれがあります</p> <p>◇器具及び部品の改造をしないでください。</p> <p>◇器具のすきまに、異物（金属類や燃えやすい物等）を差し込まないでください。</p>	
	<p>火災のおそれがあります</p> <p>◇器具を布・紙等でおおったりしないでください。</p> <p>又カーテン・揮発物等の燃えやすいものに近づけないでください。</p>	

⚠ 注意

- ◇器具の保守・お手入れ等で器具を回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。**器具落下によるけがの原因**となることがあります。
- ◇明るく安全に使用していただくために、**器具を定期的**に（6ヶ月に1回程度）清掃、点検してください。器具のネジや部品のゆるみがないか、損傷、着脱、がないかお調べください。
- ◇器具に水をかけたり、水の中につけて洗わないでください。**感電・火災の原因**となることがあります。絶対になさらないでください。
- ◇器具の下に温度の高くなるストーブや、発熱体を置かないようにしてください。**器具の変形や火災の原因**となることがあります。
- ◇照明器具には寿命があります。設置後およそ8～10年経過しますと外観に異常が無くても内部の劣化は進行しています。3～5年に1回は、電気工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら交換ください。（使用条件、使用環境で異なりますが、一般に照明器具の寿命の目安は10年です。）



保守とお手入れ

⚠ 注意 **必ず電源を切って行ってください。感電・やけどの原因になります。**

お願い

- ◇器具のお手入れの際に、ガソリンやシンナー・ベンジン等揮発物で拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。**変色・破損の原因**となります。汚れがひどい場合は、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼってふきとり、乾いたら、柔らかい布で仕上げてください。
- ◇ぬれた手で器具に触らないでください。



お読みになりましたら、この取扱説明書は、いつでも見られる所に、大切に保管してください。

アフターサービスのお問い合わせ



商品に関するご相談およびお問い合わせは、器具本体の表示に書いてある型番をご確認のうえ、お買い上げいただきました販売店・工事店へお気軽にご連絡ください。部品についてのお問い合わせは、「部品名称」のイラストをご参照ください。

お客様相談窓口

ナビダイヤル  **0570-550-575**
 (全国共通番号) 

受付時間（土日祝を除く）9：00～17：00
 通話料はお客様の負担となります
 PHSからは接続できません

<http://www.yamagiwa.co.jp/>